

青年部男女 208名、正に絶頂期であった。そしてふるさと利賀村各地区での施設の建設、道路整備と発展などに、享友会としても出来る限りの協力し、各集落毎の行事に参画し、一層交流を密にして共栄を推進してきた。なお規約では西陣織関係者のみならず「利賀村の出身者およびその後裔にして京都市在住する者で、役員会で入会を承認された者」をもって享友会が組織されるとしており、洋服業として独立した私も昭和 35 年に誘いを受けて会員となった。

当時享友会の年間行事は、総会・春の祭礼・お盆のお参り・物故者法要・その他リレーション等、盛大に行われた。しかしながら時代とともに 社会は少子化が進み、利賀村からの出身者が年ごとに減り会員数も定着からだんだん減少に向かう。また享友会員の高齢化が続き、将来について協議の結果、当時の平屋建会館から、実を生む会館に建て替える決議になる。様々な苦勞もあつたが、昭和56年頃よりふるさと利賀村各位のご支援、会員各位の多大の協力により、59年に新たな鉄骨三階建の享友会館が建設された。一階は貸ガレージ、二階は会議場及び貸会場、三階はマンションの建物です。当時会計担当として係っていた一人として、いろいろ難題があつたことを思い、今「よく出来たな～」と振り返っている。この建設が関係者各位相互の信頼と熱意の賜であることを信じて疑わない。

新会館では年一度のふるさと物産展が開催され交流が続くなか、平成元年には利賀村政 100 周年記念式典には多数の享友会員が出席、新共同墓地の建設、「世界そば博覧会」へのボランティア参加支援がなされた。そして平成12年には「第 1 回母村ネットワーク(全国の利賀村出身者が一同に集う会)」を主体的に開催し、皆さん我が家に帰った気



京都利賀享友会創立 35 周年記念「会館新築事業」上棟式記念 (昭和 58 年 4 月 3 日)

持で共に語り合い親睦を深めた。これはその後3年ごとに開催されている。

平成20年、南砺市長に利賀村出身田中幹夫氏が初当選される。若き信頼ある勇者、市政の発展を切に期待いたします。市町村合併に伴い享友会館名義移行問題が発生、色々問題解決を要し、平成24年9月3日移転登記が完了し、名称を「一般社団法人京都南砺利賀享友会」として現在に至っている。

春は新緑・夏は涼しく・秋は紅葉・冬は豪雪。山深い山村からの離村者同士が、都会の一角に会館を所有し、互いの親睦、交流の場として維持することは、世界でも稀な例とも思い、いささか誇りにも感じますが、今後危惧する課題も多い。小生16歳から70年近く、京都生活。そのうち60年余り享友会とのお付き合い。ふるさと利賀村の未知の世界を知ることでもできました。数多くの先人達との出会い、色々知恵を頂いたお陰で、今の自分の存在と思います。限られた短い余生少しでも世に役立つ事が出来れば幸いと考えている。



ふるさとの女子ハンドボールチームを 応援しよう！

現在、日本ハンドボールリーグに加盟して熱戦を展開している女子9チームの中に、射水市黒河のコールセンターの「プレステージ・インターナショナル」に本拠をおく「アランマーレ富山ハンドボールチーム」があります。明るく笑顔あふれるチームで、海に面した地域を元気にしたいという想いを込めてイタリア語から造語して命名されました。前年度の戦績は9チーム中7位でしたが、近畿いみず会の中林政憲幹事



を応援リーダーのひとりとしたファンクラブが活発に活動しています。今年度のリーグ戦は2021年8月28日から2022年3月1日にかけて予定されています。ファンクラブ入会等の問い合わせは以下まで。
E-mail team@aranmare.jp
電話 0766-53-3007

富山県大阪事務所の新所長に神田政計氏！

(かんだ まさかず 氏)

4月1日付人事異動で富山県大阪事務所前所長の酒井勝氏が県の教育委員会へ異動され、新所長として神田政計が赴任されました。ご本人より以下の挨拶文をいただいています。

「出身は南砺市で、学生時代は京都市内で過ごし、関西の地での生活は約30年ぶりとなります。

未だ、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、厳しい状況にありますが、近畿富山人会の皆様のおかげで、精一杯がんばりたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。」



この「近畿富山人会だより」は本会ホームページでもご覧になれます。

URL <http://www.toyamakenjinkai.com/wp/>

「近畿富山人会だより」や本会ホームページへの記事提供をお願い致します。記事・情報送付宛先メールアドレスは次のようです。 kohoteam@toyamakenjinkai.com